

歴史を歩く 49

おおさきの歴史を旅してみませんか⑮
（近世以降の行政の中心となった地域（馬場・城内）
牟田地を埋め立てて発展した商業地（三文字地区））③



8 胡摩ヶ崎城跡

築造は鎌倉時代初期と想定される。建武3年（1336年）に後醍醐天皇の臣下である千種忠顕の雑掌がここに拠ったという記録がある。

また、正平3～12年（1348～1357年）には南朝方の楡井頼仲・頼重兄弟の城となっている。頼重は北朝方の禰寝氏に攻められ、ここで戦死したと伝えられる。

9 西南戦争激戦地

西郷軍に属する栢山賛一率いる小隊と串良街道から進入してきた官軍の偵察隊との刀戦をきっかけに始まった前哨戦。

永吉から仮宿に進軍してきた官軍が加わったため、西郷軍は敗走した。



10 潮入川橋梁跡

明治24年9月に県道建設に伴い、潮入川に架けられた小橋の欄干の一部。昭和初期の大規模な持留川改修工事で潮入川の流路は持留川に流れるようになり、昭和20年代以降の道路舗装工事で橋もなくなった。